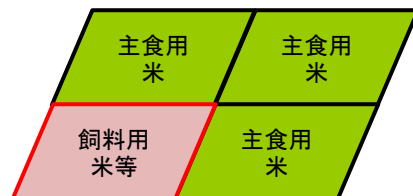


# 25年産からの飼料用米等の出来秋の出荷数量の調整方法（案）

【対象：新規需要米（飼料用、米粉用、バイオエタノール用、主食用以外の種子用）、加工用米】

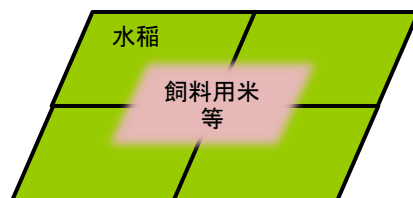
## 24年産まで

飼料用米等の生産から出荷まで、  
主食用米と区分して取組む場合



出来秋の出荷数量は、飼料用米等を  
生産したほ場からの全収穫量

### 上記以外の場合



出来秋の出荷数量は、  
当初の出荷契約数量（※1）

（※1）作柄変動等に応じた出荷数量の調整可。

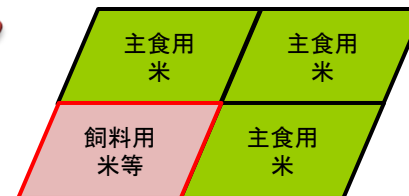
## 25年産から

「多収性の専用  
品種」の場合

かつ

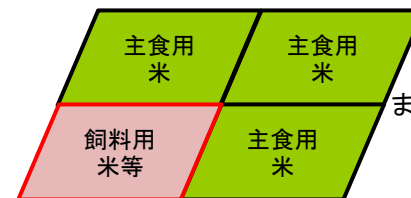
飼料用米等の生産から出荷まで、  
主食用米と区分して取組む場合

2ページ参照

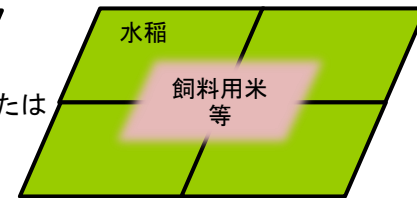


出来秋の出荷数量は、飼料用米等を  
生産したほ場からの全収穫量  
（＝「区分管理方式による出荷」）

### 上記以外の場合



または



出来秋の出荷数量は、  
当初の出荷契約数量（※2）  
（＝「一括管理方式による出荷」）

（※2）作付変動等に応じた出荷数量の調整は、従来の方法  
に加え、需要者の指定する品種や不作付地での作付な  
ど柔軟に対応。

3～4ページ参照

## 「多収性の専用品種」の範囲

国の委託試験等で飼料用として育成され、子実の収量が多い以下の18品種

みなゆたか	ふくひびき	タカナリ
ミズホチカラ	きたあおば	たちじょうぶ
べこごのみ	べこあおば	夢あおば
ゆめさかり	ホシアオバ	北陸193号
もちだわら	モミロマン	クサホナミ
クサノホシ	まきみずほ	モグモグあおば

または、

以下の両方を満たすことを、**地方農政局長等が特に認めた品種**

- ① 農業試験場の試験データ等で、子実の収量が多いことが確認された品種

かつ

- ② 当該県内で一般に非主食用途として生産されている品種



# 「当初の出荷契約数量」の出来秋の調整方法

一括管理方式による出荷の場合でも、**農業者等が「当初の出荷契約数量」を出来秋に調整するかどうかを判断することが可能**であり、その際の調整方法は以下の①～④のとおり。

(注：①～③は、24年産までと同様の運用)

①

## 作柄変動が生じた場合の調整

出来秋の出荷数量 =

$$\text{当初の出荷契約数量} \times \frac{\text{作柄表示地帯別の作況指数}}{100}$$

②

## 主食用米も含めた全収穫量が把握できた場合(※1)の調整

出来秋の出荷数量 =

$$\text{当初の出荷契約数量} \times \frac{\text{実単収 (＝全収穫量／全作付面積)}}{\text{配分単収}}$$

(※1) 共乾施設を利用しているなど全収穫量を適正に把握できる場合。

③

## 自然災害等により減収した場合(※2)の調整

出来秋の出荷数量 =

$$\text{当初の出荷契約数量} - \frac{\text{飼料用米等の作付面積}}{\text{主食用米も含めた  
水稻の全作付面積}} \times \text{減収量}$$

(※2) 農作物共済の損害高等により、客観的に減収量が確認できる場合に限る。

④(追加)

次に掲げる特定の取組であって、当該特定取組に係る全収穫量が把握できた場合の調整(ただし、計画申請時に特定取組の確認が必要)

- ・ 需要者の要望に基づき、あらかじめ指定された品種・種類、栽培方法等での取組
- ・ 一時的な要因により通常の単収を用いることが困難なほ場での取組

出来秋の出荷数量 =

$$\text{当初の出荷契約数量} \times \frac{\text{特定の取組の実単収 (＝特定の取組の全収穫量／特定取組の全作付面積)}}{\text{配分単収}}$$

【事例1】 古代米、もち米などの特別な品種・種類、有機無農薬栽培などの特別な栽培方法などの出荷を需要者との契約で指定されて取り組む場合。

【事例2】 出穂期以降に薬剤散布をしていないほ場で生産された「粳」での出荷を養鶏業者などとの契約で指定されて取り組む場合。

【事例3】 不作付地での作付再開など、一時的な要因により一定の減収が見込まれるほ場で取り組む場合。



## 「当初の出荷契約数量」の面積換算値

生産現場では、需要者との契約で決まった「当初の出荷契約数量」を面積換算して飼料用米等を作付けることとなる。

この面積換算値は、各地域における主食用米の配分単収を用いて算出するため、例えば、配分単収が実態の単収よりも大きすぎると、「当初の出荷契約数量」を出荷することが難しくなる。

このため、地域において、実態に即した配分単収を設定することが重要。

### 面積換算値の算出方法

飼料用米等の面積換算値 = 当初の出荷契約数量 ÷ 配分単収

## 実態に即した配分単収への変更例

旧

地域の配分単収 = 550kg/10a

山間部

配分単収550kg/10a ただし実態は500kg/10a

平野部

配分単収550kg/10a ただし実態は600kg/10a



新

地域の配分単収 = 550kg/10a

山間部

配分単収500kg/10a 実態も500kg/10a

平野部

配分単収600kg/10a 実態も600kg/10a